



常盤っ子

草津市立常盤小学校
学校だより特別号2
令和元(2019)年11月15日

教育目標 「やさしさと強さを持ち、人を大切にする子どもの育成」

合言葉 「差別を見抜き、自ら正しく行動し、最後までやりきる、常盤っ子」

常盤小学校の子どもたちに確かな学力を育む取組について

前回の特別号でお知らせした、全国学力・学習状況調査の結果について、滋賀県、草津市、そして本校でも様々な角度から分析を進めてまいりました。その分析内容と今後の取組についてお伝えします。

全国・滋賀県全体の傾向と本校の強みと弱み《国語編》

滋賀県の子どもたちは、「漢字のもつ意味を考
えながら、既習の漢字（同音異義語等）を、文や
文章の中で正しく使うこと。」に課題があると
分析されています。漢字の書き取り問題はできて
も、文章を書く上で適切な漢字を選び使うことが
「生きて働く力」だと考えます。

この漢字の活用に関する問題について、本校の子
どもたちは、全国の平均正答率から+8pt~+17
ptと大変好成績を残しています。このことは、
草津市全体で継続的に実施してきた「漢字検定」へ
の取組が良い効果を生み出していると分析していま
す。今年も「漢字検定」の取組についてお知らせし
たところです。子どもたち一人ひとりがそれぞれの
目標に向けて、学習を進めることでさらに力がついていくよう、学校でも工夫して
指導してまいります。

一方、本校の子どもたちが苦手としている学習内容は、前回もお知らせしましたと
おり「話すこと・聞くこと」に関する問題です。これは、『めあてをもってインタービ
ューすることを通して相手の考えを捉えて聞き、自分の考えをまとめて書く』とい
う、生活科や総合的な学習の時間などでよく取り組む学習活動です。「話し手の意図
を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」ことを国語科の中で意識して取り組むこ
とで、生活科や総合的な学習の時間の学びが充実し、子どもたちの確かな学力が育
まれるのだと考えます。それぞれの教科の学習で終わるのではなく、教科間の学習
をつなげて効果を上げていくことが次の学習指導要領でも大切にされています。

いよいよ4月からは、新しい教育課程が始まり、教科書も一新されます。常盤
小学校でも各学年・各教科の指導計画を立案・計画する時期になってきました。本校
独自の「ふるさと常盤」について学ぶ学習活動を大切に継承しながらも、その学びが
国語科を含めた教科の学びにつながっていくよう工夫していきたいと考えています。

全国児童の誤答・無回答が多かった問題

問 傍線部のひらがな漢字で書きましよう
そこで、地いきの人三十人を調査のたいしようとし
て、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとん
どの人が必要だと回答しました。

※誤答例 「対照」「対称」「対賞」

常盤小の子どもがこの問題の平均正答率は
全国平均正答率を10%以上、上回っています

ぜんこく し が けん ぜんたい けいこう ほんこう つよ よわ さんすうへん
全国・滋賀県全体の傾向と本校の強みと弱み《算数編》

さんすうか ぜんこく へいぎんせいとうりつ ひかく がくしゅうないよう
 算数科では、全国の平均正答率と比較するとよくできている学習内容もあります
 が、10pt程度下回っている学習内容もあります。ぜん 1 4 問の平均正答率を見るとぜんこく
 な 並みとなっています。ぜんこくてき へいぎんせいとうりつ ひく ほんこう こ にがて
 している学習内容に割り算を活用した計算の問題(右下の問題)があります。この学習
 ないよう いぜん し が けん こ にがてぶんや わ ざんじたい こ
 内容は、以前から滋賀県の子どもの苦手分野でした。割り算自体が、子どもたちの
 つまずきポイントである上に「÷0.6」
 のように小 数で割ることの意味を十分
 りかい 理解していないことが分かります。

ねんせい がくしゅう すうちょうせん つか
 5年生の学習では、数直線を使って
 かんが 考えたり、す え もち せつめい
 図や絵を用いて説明したりす
 るなど工夫しているのですが、ときわ こ
 常盤っ子 たちも特に苦手としています。

やはり、基礎的・基本的な知識・理
 かい ぎのう ていちゃく じゅうぶん じかん
 解・技能の定着に十分な時間をかけて
 ひつよう ぶんせき
 いく必要があると分析しています。

こういった分析結果から、学校では、
 ときわ こ たし がくりよく さら こうじょう
 常盤っ子の確かな学力の更なる向上を
 め 目指して、さんすうか じゆぎょうかいぜん ぜんこう と
 算数科の授業改善に全校で取
 り組んでいます。併せて、PTA運営
 いいんかい きょうぎ ほ ごしゃ みな
 委員会でもご協議いただき、保護者の皆
 さま おさ とくべつ
 様にお納めいただいているPTA特別
 かいけい なか さんすうか そうごうがくりよくちょうさ
 会計の中から、算数科の総合学力調査の
 ひよう けいじょう ときわ こ
 費用を計上し、PTAとしても常盤っ子
 がくりよくこうじょう おうえん けてい
 の学力向上を応援することを決定いた
 だきました。

そうごうがくりよくちょうさ ぜんこくてき おこ
 この総合学力調査は、全国的に行われ
 るもので、ちくせき ひとり
 る蓄積されたデータから一人ひとりの
 がくしゅう どうたつど てきかく はあく
 学習の到達度を的確に把握し、

ひつよう がくしゅうないよう ほじょ かたち ていきょう がっこう こ
 必要な学習内容を補助プリントという形で提供するものです。学校としても子どもた
 ちの学習 状況を学級という狭い集団ではなく、ひろ しゅうだん なか ほんだん ぶんせき
 りんごう 況を学級という狭い集団ではなく、より広い集団の中で判断・分析す
 ることで、次の学年に向けて確実な定着を図っていけるものだと考えています。

ちようさじしし がつ ちゅうじゆん ぜんがくねん おこな こじんけつかとう がつ へんぎやく
 調査実施は12月の中旬とし、全学年で行います。個人結果等は1月に返却さ
 れ、ほじょ どうじ き うんよう はじ がっこう
 補助プリントも同時期から運用を始め、学校でのチャレンジ15の時間や家庭
 がくしゅうどう かつよう けいひ ひとり あ えん あら ししゅう
 学習等に活用していきます。かかる経費は一人当たり380円ですが、新たな支出は
 なく今年度のPTA特別会計の一部を活用していただけることとなっています。

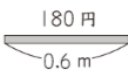
いじょう ときわ こ たし がくりよく いくせい む とりくみ つた り
 以上、常盤っ子の確かな学力の育成に向けた取組についてお伝えしました。ご理
 かい きょうりよく ねが
 解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。 常盤小学校 古谷 匠

ぜんこくじどう ごとう むかいとう おお もんだい
全国児童の誤答・無回答が多かった問題

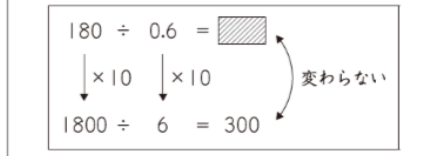
問題

リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。

このリボン1m分の代金は、いくらですか。



1m分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。
 ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを
 求めました。



だから、 $180 \div 0.6$ の答えの は、300 です。

$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえますか。
 下の あ から え までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- あ 0.6m分の代金
- い 1m分の代金
- う 6m分の代金
- え 10m分の代金

☆つまずきの例
 う：6mの代金
 割られる数と割る数を10倍
 した $1800 \div 6$ の式の割る数
 6に着目して、6m分の代金
 を求めていると誤って考え
 ている

ときわしょう こ もんだい へいぎんせいとうりつ
 常盤小の子どもがこの問題の平均正答率は
 ぜんこくへいぎんせいとうりつ ていど したまわ
 全国平均正答率を10%程度、下回っています